

議 事 録

1. 会議の名称 池田市発達支援システム検討委員会
2. 開催日時 平成27年9月24日(木) 午前10時～12時
3. 開催場所 府市合同庁舎5階大会議室
4. 出席者
 《委 員》
 片山委員長、小川副委員長、永井委員、泉玉委員、
 加藤委員、乾委員、高光委員、竹内委員
 ※平田委員、村田委員は欠席。
 <大阪大学>
 村田
 <大阪府>
 (地域生活支援課) 瀬野総括主査
 <事務局職員>
 藤井子ども・健康部長、
 (発達支援課) 武田課長、森田、
 (障がい福祉課) 田邊副主幹
5. 議 題
 (1) 平成26年度の取り組みについて
 (2) 平成27年度の取り組みについて
 (3) 大阪府における発達支援に関する取り組みに
 ついて
 (4) 各委員からの案件について(意見交換)
 (5) その他
6. 議事経過 別紙
7. 公開・非公開の別 公開
 ※非公開の理由
8. 傍聴者数 なし
9. 問い合わせ先 池田市 子ども・健康部 発達支援課
 (072) 752-1111 内線190
 (072) 754-6102 (ダイヤルイン)
 E-mail h-shien@city.ikeda.osaka.jp

様式第 2 号

議 事 経 過

発言者	発言の要旨
	<p>(部長挨拶、出席状況など報告) ○開会(委員長挨拶)</p>
事務局	<p>案件(1)平成26年度の取り組みについて 決算状況と各種事業に関する実績などについて説明。</p>
委員	<p>いけだつながりシート「lkeda_s」の利用状況や感想などについて説明してください。</p>
事務局	<p>25年度は225部、26年度は355部、27年度は上半期で約200部と、順調に配布数を伸ばしていますので、今後も周知に努めたいと思います。また、配布時に実施しているアンケートでも、好評いただいているところです。</p>
委員	<p>通所事業所のレベルの担保について聞かせてください。</p>
事務局	<p>事業所の指定や監督は大阪府ですが、本市としても協力を惜しまないので、もっと事業所の実地指導をしてほしいと要望してきました。そのような中、8月中旬に行われた市内障がい児通所施設での実地指導に同行したところです。今後も大阪府と十分な連携を図りながら、対応したいと思います。</p> <p>また、紙媒体のものは難しいですが、ホームページなどで事業所の設備や特徴などをまとめたガイド的なものがないか検討したいと思います。</p>
事務局	<p>案件(2)平成27年度の取り組みについて 乳幼児期から成人期まで、ライフステージに応じたサービスを分かりやすくまとめた「池田市発達支援マップ」の発行や、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用して実施する「池田市妊娠・出産・子育て支援事業」などについて説明。</p>
委員	<p>障がい児タイムケア事業の対象児童や募集方法などについて教えてください。また、実施時間や対象枠の拡大は考えているのでしょうか。</p>

事務局	<p>対象などは、資料の『広報いけだ』に掲載したとおりです。また、参加者から事業の実施後に行ったアンケートなどを参考に、今後の実施方法については検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>前回の委員会にも同席してもらいましたが、障がい福祉課との連携は必要不可欠だと考えます。しかしながら、そのあたりについての状況が見えてこない。年齢などによって担当課が変わったり、部局を超えるので難しいかもしれませんが、支援システムの推進のためにも何とか目に見える形で示してほしいと思います。</p>
事務局	<p>次回の本委員会では、もう少し両課で連携しているところの説明ができればと思います。</p>
委員	<p>発達支援マップについて、新聞やホームページに掲載してもらったのはありがたいのですが、発達障がいのある方が対象のような表現になっているのが残念。</p>
事務局	<p>今後『広報いけだ』などに掲載する際、いけだつながりシート「lkeda_s」同様、対象は全市民であることを周知したいと思います。</p>
大阪府	<p>案件（3）大阪府における発達支援に関する取り組みについて</p>
大阪府	<p>大阪府が実施する「発達障がい児者総合支援事業」について説明。</p>
委員	<p>私たちはこのような説明を受けられるので、大阪府の取り組みを知ることができますが、広報誌に掲載するなど、もっと一般的に知ってもらう機会を設けてほしいと思います。また、学校などにも周知を図ってもらえたら。</p>
事務局	<p>広報誌は紙面スペースに限りがあって難しいと思いますが、検討します。学校などに対しては、大阪府の担当部局などを通じて情報提供されていますが、いっそうの周知徹底を図ります。</p>
委員長	<p>前回は申し上げましたが、こういう会議で方向性が見えても、それを実行しないと、なかなか市民に届かないということになります。少なくともここにいらっしゃる方については、ご自身の持ち場で促進していただきたいと思いますし、関係の所へもお願いしたいと思います。</p>

委員	<p>案件（４）各委員からの案件について（意見交換）</p> <p>担当の先生が変わると、学校行事などで昨年は参加できたのに、今年にはできないと言われたという話を聞きました。引き継ぎなどをしっかりしてほしいと思います。</p>
事務局	<p>いけだつながりシート「Ikeda_s」を活用してもらうよう、推進を図ります。</p>
委員	<p>先ほど、年齢によって担当課が変わるという話がありましたが、「児」から「者」に変わる際のサービス格差があるように感じます。決して年齢で切ることはできないものだと思います。</p>
事務局	<p>一朝一夕にはいきませんが、支援システムの推進のため、客観性のある仕組みを確立させるよう努めてまいります。</p>
事務局	<p>案件（５）その他</p> <p>委員の皆様の任期が来年28年3月16日までとなっていますが、引き続きご協力をお願いしたいと考えています。また、「池田市発達支援システム検討委員会規則」には「本委員会は13名以内で組織する」とありますが、現在の委員は10名です。発達支援システムの入口にあたる母子保健部門である本市健康増進課の職員を、新たな委員に加えたいと考えていますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
事務局	<p>ありがとうございます。それでは、その方向で進めたいと思います。次回の開催は年度末、2月下旬から3月中旬ごろに開催したいと考えています。</p> <p>○閉会（委員長挨拶）</p>